第5回 THE GATE

最終選考結果発表!!

鈴ノ木ユウ氏、大今良時氏が審査員を務める
第5回THE GATE、その受賞者が決定しました!!

大賞 100万円
モーニング&Dモーニングに掲載

『喃風と空永』

高木秀栄（31歳／東京都）

今号351ページより掲載!

大今良時

とにかくカッコいい作品でした。主人公に葛藤があって、弱さがあって、目的があって。どこにも無駄を感じず、読んでいて没入感がありました。完成度は一番で、雑誌に掲載されていても全然おかしくないと思います。私が描けないものを描いているな、と、尊敬の念を持ちながら読みました。

鈴ノ木ユウ

言うことのない素晴らしい作品でした。ただ、喃風が最後に発した「俺の刀こそが天下一だ!!」というセリフによって、喃風のことを最後まで好きになれず…。これは好みのレベルですが、そこだけが気になりました。空永と一緒に刀を作ったことの意味を打ち出せると、更に良かったのではないでしょうか。しかし画力の高さはもちろん、キャラの表情に迫力があり、演出力も高いので、近い将来モーニングを支える作家になれると思います。

THE GATE事務局長

熱量が画面からあふれ出るほどの画力！刀に魅入られた男たちの壮絶な生き様！親の仇である相手と刀を作る中である種通じ合っていく関係性に、「人間の業」を描こうという強い意志が感じられました。まさに熱した鉄を打って刀を作るように、作者が丁寧に思いをこめて作ったことが伝わってくる作品。

山上空永は13年前の御前勝負で父の打った刀を破った笠原喃風のもとを訪れる。勝負に敗れ命を絶った父の無念を晴らすため、跡を継ぎ刀師となった自分との勝負を迫る空永。だが身を持ち崩した喃風は片腕を失くしていた。

絵の迫力、画面作りの上手さ以上に粘り強く作品を仕上げた作者の熱意に脱帽します。今後も人の心を震わせるような作品を作り上げていってください。

この度は大変な賞を頂き光栄に思います。いろんな人の助けを得て描けた漫画です。本当に感謝しています。ありがとうございました。

審査員賞 鈴ノ木ユウ賞 60万円「レジガール」

モーニング&Dモーニングに掲載

高口(たかぐち)うに（27歳／愛知県）

46号に掲載!（10月12日発売）

鈴ノ木ユウ

漫画ってまず、「普通に面白い」ものを描くことが難しいのですが、それができている作品だと思いました。読みやすく、話もわかりやすい。スーパーという狭い世界で、主人公の天野さんを魅力的に描けています。すでに読者を意識してネームを切れているので、読んだ後に読者の心に何を残せるか、さらに読者を惹きつけるにはどうしたらいいか、深く考えながら漫画を描き続けてほしいです。それができれば更に魅力的な作家さんになれると思います。

あらすじ：とあるスーパー。実習生とは思えぬ速さでレジを打つ天野さんは、一切客に笑顔を見せず、ひたすら自分のスキルを磨くことに喜びを見出していた。しかし、ある日客から感謝の言葉をかけられ、彼女の中に変化が起きる！

担当編集より：一見とっつきにくそうな主人公だが、照れた表情だったり、心の変化だったりをうまく描くことで、愛着を感じさせる素敵なキャラクターに仕上げている。

受賞のことば：素晴らしい賞を頂き光栄です。実際にレジガールをしながらこの漫画を描きました。バーコード暗記早打ちは私の得意技で、ベテランの方にも驚かれました！

審査員賞 大今良時賞 60万円「ハネカクシ」

モーニング&Dモーニングに掲載

47号に掲載!（10月19日発売）

大月魚目(おおつきうおのめ)（25歳／東京都）

大今良時

構図が良く、演出も上手だと思いました。ハネカクシの特異性が主人公と間野くんの関係性によくかかっています。いい話でした。ただ、特にラストシーンですが、「？」となる瞬間があるのが勿体ない。ハネカクシとお姉さんの関係や、どういう現象が起きたのか、論理を曖昧なままにせず、しっかり作りこんでいってほしいです。しかし、「0」から「1」を生み出す努力ができているのは稀有な才能だと思います。

あらすじ：中学の頃の同級生が事故で亡くなったとの知らせを受け、電車で地元へ向かう私。亡くなったのは虫が大好きだった間野君。ずっと忘れていたけれど、そんな彼に対し抱いていた胸の奥のつかえが蘇ってきて――。

担当編集より：「主人公が救われる話を描きたい」という大月さんの作品づくりへの思いに心打たれました。担当としてサポートし、読者へ届けていけたらと思います。

受賞のことば：この度は、大変素晴らしい賞に選んで頂き、誠にありがとうございました。とても嬉しいです! 魅力的な漫画が描けるよう、日々精進して参ります。

編集部賞 50万円

モーニング&Dモーニングに掲載

『告白ゲーム』

さちこ（25歳／カナダ）

モーニング編集長・宍倉

最愛の人に「好き」と伝える。最愛の人を守る。人生で大切なその二つのことを両立できない時どうするのか。タイムリープという設定を使ってエンタメに仕立て上げ、最後まで一気読みさせました。時系列が混乱しがちなタイムリープですが、何が起きているかをわかりやすく演出、構成した手腕は見事でした。もう少し主人公の絶望に寄り添うシーンを演出できていたら感涙必至の感動作になったと思います。

あらすじ

罰ゲームでの告白がきっかけで付き合うことになった黒田と白川。交通事故、彼女との別れ、繰り返される悲劇。黒田の覚悟――これは、大きな、とても大きな愛の物語。

担当編集より

時差を乗り越え、電話とメールを駆使して（文明の利器に感謝！）この作品を描きあげたさちこさん。次は連載へのハードルを乗り越えましょう！

受賞のことば

パートナーや友人たちに助けてもらったので、今回このような賞を頂いて本当にうれしく思います。より良い作品が作れるよう、止まることなく前へ進みたいと思います！

奨励賞 10万円

Dモーニングに掲載

『創世記』

さねすえ（30歳／兵庫県）

担当編集より

創造神（黒髪美少女！）の目力の強さに惚れました。読者をたぶらかせるくらいの、魅力的なキャラクターを生み出して欲しい！

『天才と天才とフィナンシェ相沢』

ウオヤスピカリ（21歳／埼玉県）

担当編集より

天才ではないゆえに「天才殺し」にこだわる男の、ねじれたコンプレックスを楽しく描いた作品。セリフ回しにセンスあり。"楽しげ"をそのままに全体にレベルアップを。

『遭難』

山下友（やましたゆう）（23歳／愛知県）

担当編集より

読み手に「驚き」を与えるセンスが抜群です。漫画の文法の基礎を学んだり、画力を上げたりと課題は多いですが、大作を描いてくれそうな予感がします。

『ブリ大根～父が好きだったモノ 苦手だったモノ～』

綾瀬大（あやせだい）（36歳／東京都）

担当編集より

プロの漫画家になりたいという気持ちの強さにいつも圧倒されます。今後も絵やお話作りの課題を一つ一つ乗り越えていってください。

第5回 THE GATE 総評

大今良時

「これ、どういうこと？」と訊きたくなる場面があり、私自身に「読者力」がなくて、ちゃんと読めていないのだろうか…と悩みました。「あと一歩突き詰めて考えれば、めっちゃいい作品として完成するのに…！」というもどかしさがあり、惜しい作品が多かったです。少しでも良いものにするため、感情を読者と共有するため、限界の限界まで粘り続けることが大切だと改めて感じました。「ここのシーンのセリフがこうだから、この場面にはこういう意図がある」と、作品全体を逐一言葉で説明できるのが理想だと思います。ただ、全体的に爆発力があり、得体のしれない魅力を持った作品が多くて、楽しく読むことができました。ありがとうございました。

鈴ノ木ユウ

今回は「天才」というジャンル指定部門がありましたが、応募作の中に、「なぜ天才なのか？」を描いた作品がなかったのは残念でした。そこを深掘りしていけば、もっと面白くなるものが多かったと思います。また、皆さんのびのびと描きたいものを描いている印象で、悩みに悩みぬいた末に出来上がったような作品が見当たらなかったのも気になりました。むしろ「もうマンガなんて描きたくない！」という状況に陥ってから、それでも投げ出さずに生み出された作品を読みたいです。ネームの時点で燃え尽きてしまっても、なんとかペンを握り、最後まで描き切る…。そういう努力の結晶のような作品にこそ、人は心を動かされる気がします。

THE GATE 事務局長

今回もたくさんのご応募ありがとうございました。今回は作者の強みが出ている作品が多く、選考会ではさまざまな意見が飛び交うことに。その中で、絵とストーリーのどちらもが高い水準で作られた『喃風と空永』が大賞を勝ち取りました。第６回の審査員は鈴ノ木ユウさん（続投）と山岸凉子さん（新任）が務めてくださいます。新しい作品と才能に出会えることを、両審査員とともに楽しみにしています。最後に、次回の投稿作に期待することをひとつ。多様なメディアが存在する現在において、あなたにとって「漫画でないと描けない感情」がある作品が読みたいです。荒削りでもいいです。あなたの感情と漫画の可能性をモーニングにぶつけてください！

次ページから大賞作品『喃風と空永』を掲載!!

第5回 THE GATE 大賞受賞作品!!!!

圧倒的筆致で描く"天才"の姿！

父は美濃国で一番の刀を作る刀師だった

勝者 笠原流

笠原喃風

喃風と空永

高木秀栄

第5回 THE GATE
大賞受賞作品!!
決して忘れられぬ
男の貌がある
喃風と空永
高木秀栄

あれから十五年

私は流派を継ぎ刀師の道へと進んだ

無名の刀師に敗れ地に墜ちた流派を私がこの手で立て直した
今や山上流を下に見る者などいない

けれど
どんなに世間が山上流を認めても…

笠原喃風？
ああ そいつか 知ってるよ

まさか奴に
鍛冶仕事でも
たのむ気かい？

あいつがまともに
鉄を打ってるのを
見たことがねえ
けどなあ

ここだよ

やめときなよー
中はシラミで
いっぱいだよー

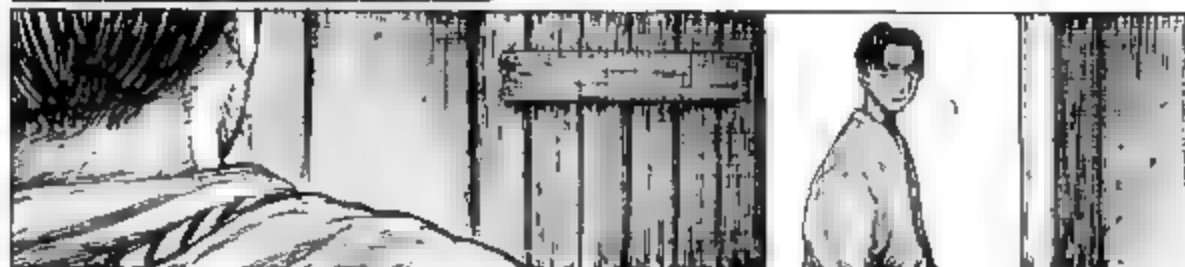
空永さま!!
たのもう!!
ここに笠原
という御仁は――…

なんだ
お前
この男に
用でも
あるのか？

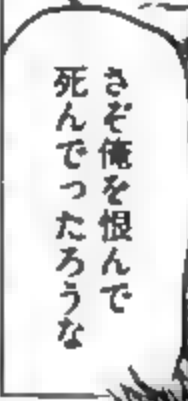
おい
起きろ！

てめえも
野鍛冶なんて
看板立てて
やってるなら
鋤でも鍬でも
いいから打って

次来るときまでに
必ずカネを
用意しておけ
わかったな？

だ…誰だ
お前は
どこかで見た
…顔だが…
山上流
山上空惣が一子
山上空永

山上の旦那の息子か
くくく…
道理で見た顔だと思ったぜ

私は昔話をしに来たわけではない

もう一度私と流派の名を懸けて勝負しろ
貴様と山上流どちらが優れた刀を作るか

親父どのは死んだそうだな
風の噂で聞いたぜ…

嘯風と空永

あの御前勝負での
あいつの顔は
忘れられんよ

さぞ俺を恨んで
死んでったろうな

貴様！何を
他人事のようにッ

残念だがな

お前の仇討ちは
永遠に成される
ことはねぇよ!!

俺はもう二度と刀など打てねえ!!
できたとしてもガラクタだ

もともと奴には
酒とバクチで
作った借金が
相当にある
みたいですね
寿屋

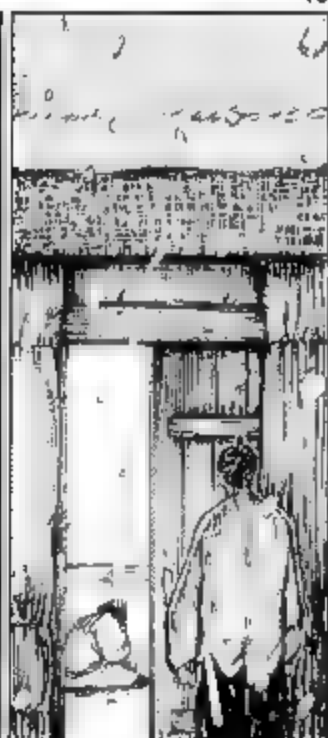
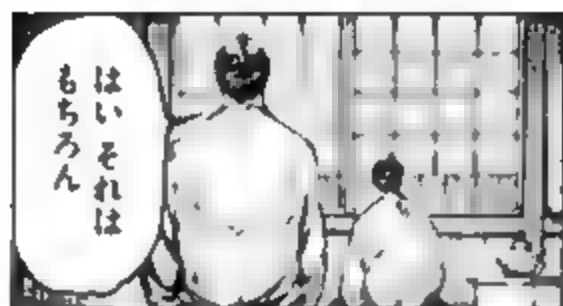
腕を失ったのも
泥酔した上での
喧嘩が原因
だとかで
どうしようも
ないですよ

国に戻り
ましょうよ
空永さま

斬って
くれ!!

かっ

なんでだ…
まともに打てない
なんて
ちくしょう
なんて…

平八…
父の最期を覚えているか？

はい それは
もちろん

武士の命である
刀剣を作る者
として
名を汚されて
生きるわけにはいきません
ご立派な
最期でした…

私は
父上が死に
汚名を背負い
恥の十五年を
生きたのだ

終わらせは
しない

こんな形で…!!

ばしゃ
ぶわっ
ゲホッ ゲホッ
何を…

火を起こせ
喃風
刀を作る準備をするんだ

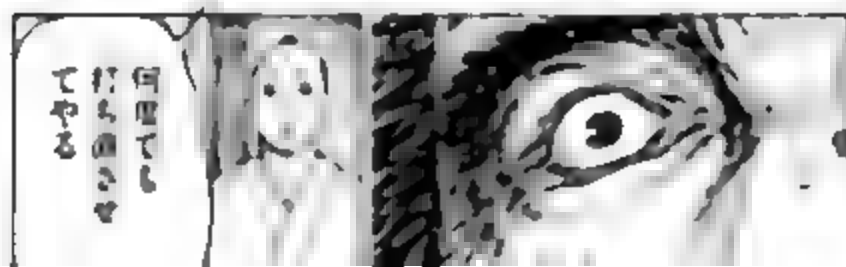
何を言ってる
俺に刀は作れない!!
この腕を見ただろ
こんな男にまだ作らせようとするなんて…
殺してやる…

昨日 確かに
お前は死にたいと
言ったな

ならば私が
殺してやろう

だが私も
刀師の端くれ

クズ刀で
人は斬らん…!!

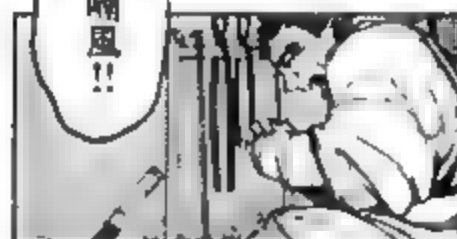
なんでだ
なんで俺に
ここまでさせる

こんな俺に
[illegible]ったって
何も

ぐっ

何度でも
打ち直させ
てやる

お前の体が
潰れるまで

笠原晴風!!

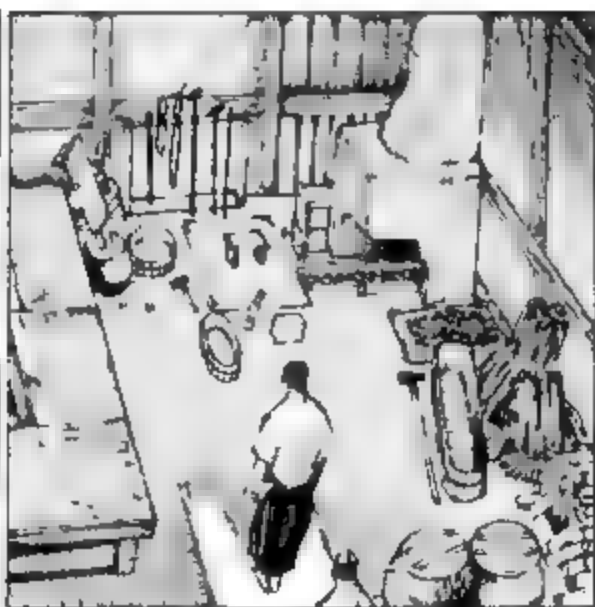
俺はもう かつてのように 作れない
負けは認める それで足らぬなら 斬れ…どんな 刀でもいい
俺は もう…
少し休め
ギリ
もう勘弁 してくれ この数日で わかっただろ
戻ったら もう一度だ

もうこんなこと
やめてください

私だって
これが正しいとは
思っておらん

こんなことを
しても
お父上は

黙れ 平八

しかし
奴のことを
知ってから

ただ
どうしようもなく
腹が立つのだ

空永さまの
刀までも!!

あの野郎!!

今や一流の刀師だか知らんがなめんじゃねぇぞ
俺だって昔はてめぇなど足元にも及ばねぇ男だったんだぞ!!

この刀を売って道中の資金に…
ス…

あきらめるだと？今なら後を追えば…

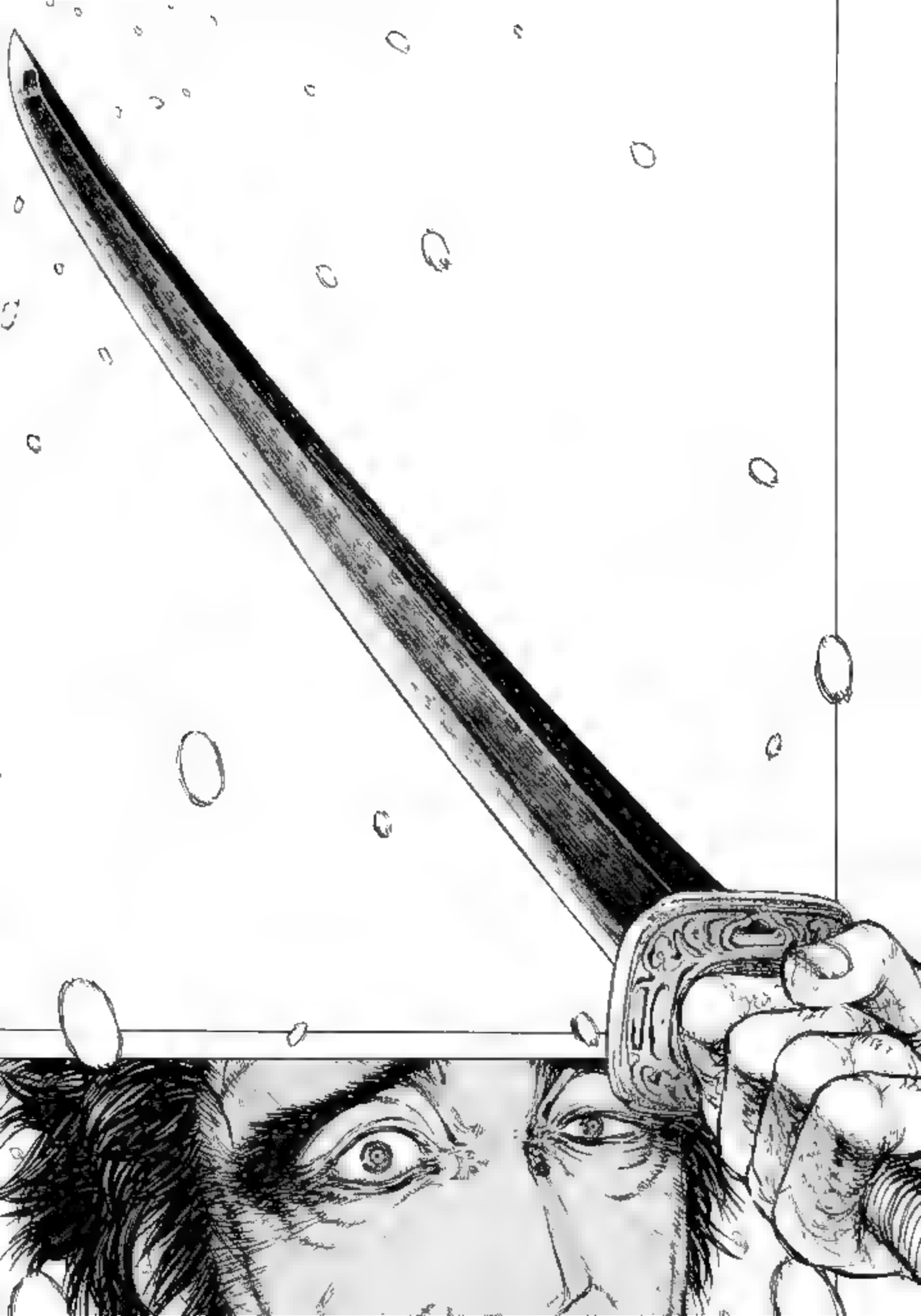
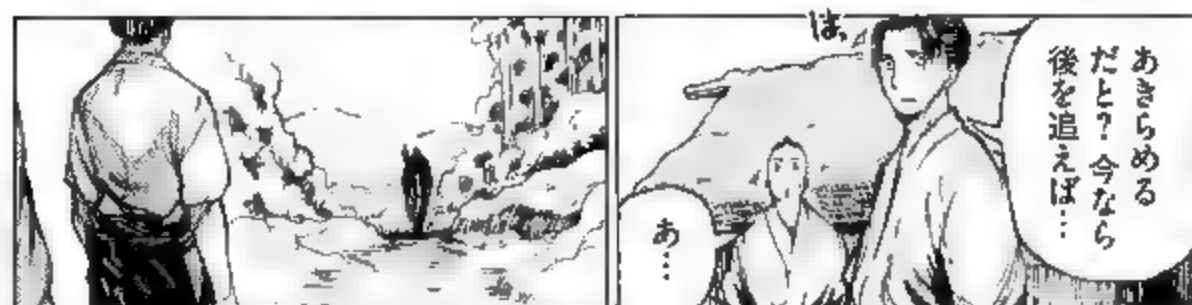
は、

あ…

喃風!!

※乱れのない真っ直ぐな刃文のこと

俺は…

ザッ…
喃風
お前…

そんな鉄クズで何をする!?
俺はな たたらで作ったような お利口な鉄は 使わねェ
人間の…血と汗が しみ込んだ そんな鉄を 使うんだ
何をバカな! やめろ
がっ
一流の鋼を 使わずして 一流の刀など…
空永さま!!
何をするか 貴様!!
口を出すんじゃねぇよ

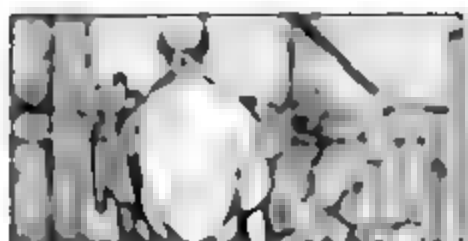
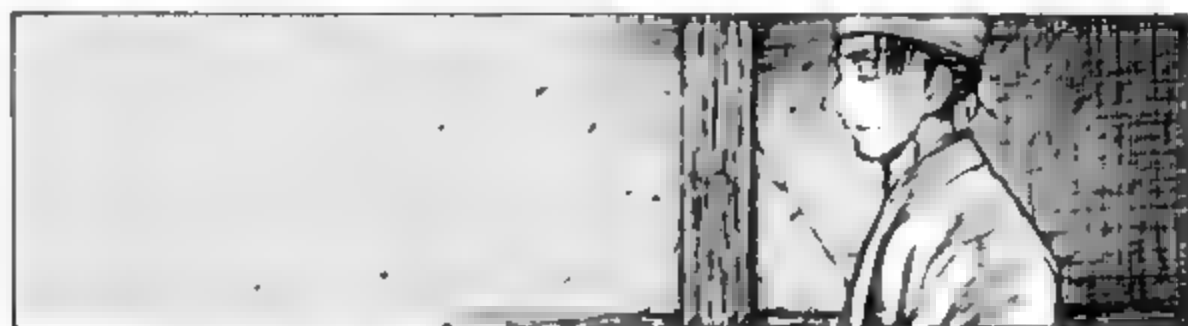
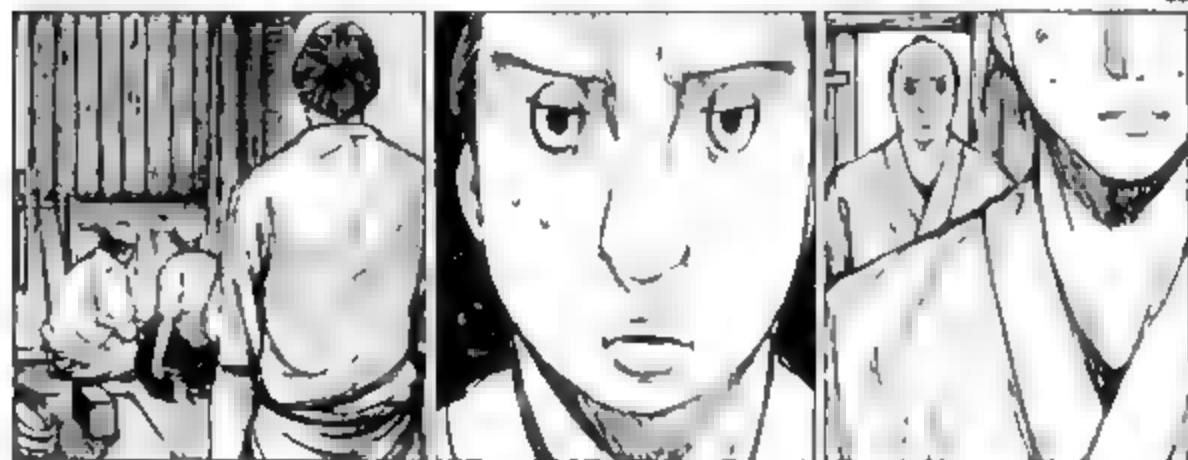
俺が死ぬにふさわしい刀を作れって

あんた言ったよな！

だったらここからは俺の好きにやらせてもらうぜ!?

今までと同じように渾身で打っているのに

なぜ崩れない!?

この男に
何が

ふざけるな
手足のように
使っておいて
何を!!

見たいのか?
俺の焼き入れを

父が敗れた
その秘密をお前は
知りたいんだろ?

俺の焼き入れに
その真髄がある
そう思っているんだな?

だったらなおさら見せるわけにはいかねえな
俺の刀の秘密は墓まで持って行く
この刀は俺の生涯最後にして最高の刀になる
たとえ生き長らえたとてこれ以上のものはもうできん

うぬぼれるな
私はお前が再び逃げないようにと…
ぐっ
宿に戻って待っていろ

ピシャッ

焼き入れは通常
日の沈んだ
夕刻から夜半に
行われる

刀師は火床に
入れられた刀身の
赤らんだ色合いを
見極める

刃文を作り出す
焼刃土を
刀身に塗り
乾いた状態で
火床に入れる

一度始めたら
やり直しは
利かない
刀の出来を
決定づける
重要な工程
なんだ

あのとき
頭を下げてでも
あそこに残る
べきだったか？
いや何を
それではまるで
奴の弟子
ではないか

ならば
隠れて
見てやる
のは？
しかしそんな
盗人のような
こと
にしても平八は
どこに行った
こんなときに
ん…

これで良かったんだ
これで奴の刀は…
ガラッ
――!!

空永さま!!
どういうことだ
あの連中に会って
何を話していた?
渡したのは
金か!?
答えろ
平八!!
や…

やつの刀は
完成しないほうが
いいんです
まさか
お前…
あなたや
山上流のために!!
奴らに
焼き入れを
妨害させる
つもりなのか
なぜ
そんな!

!!
ぎゅ
あなたこそ
なぜですか
空永さま!!

奴の顔…
あれはこれから
死ぬ人間の
顔じゃない!!
眠っていた奴の
鍛冶魂を
呼び覚まして
しまったんですよ
それであの刀が
評価を得たら?
皆が忘れていた
山上流の過去のことを
思い出して
しまいますよ!!

あなたの刀は信じてます
しかし私は流派を守るためならばどんなことでも

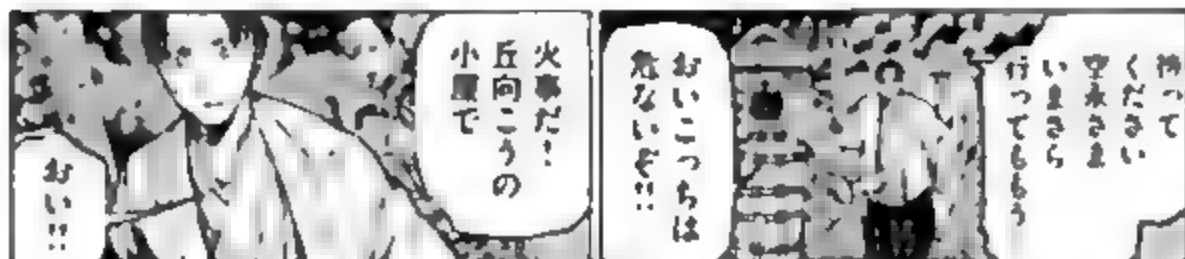
ザッ

何しに来たお前ら
悪いが今お前たちにつきあってる暇はない!!
知ってるよ刀を作る大事なときなんだろ?
俺たちはそれを潰しに来たんだ
何…

押さえとけ
何するやめろ!!
刀を潰す？
なぜ!?
知るかよ だが お前の刀ができて困る人間がいるんだろ
ケガしたくなけりゃおとなしく見てろよ
ぐっ
ちょ…おいっっ
ふざけるな!!
俺の鍛冶場から出て行けッ

はっ…

兄貴!!
羽織に火が!!

ヤバいぞ
これは
わらに
燃えうつった

外に出ろ
喃風!

喃風!!

待ってください 空永さま いまさら 行ってもらう
おいこっちは危ないぞ!!

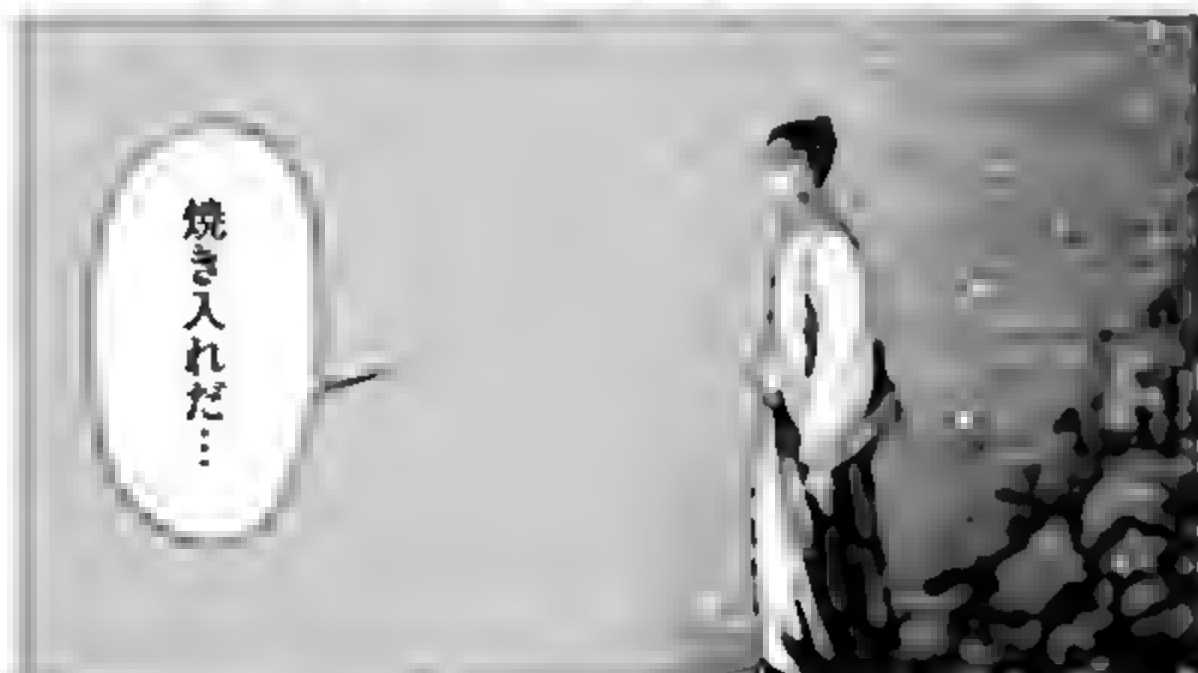
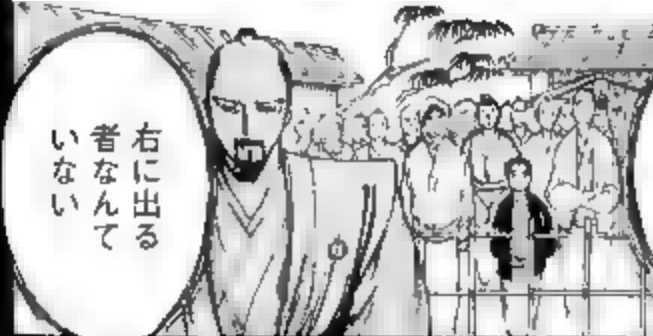
火事だ! 丘向こうの小屋で
おい!!

こ これは どういう ことだ!?

焼き入れだ…

火床に入れたら
一度きり
頃合いを
この炎の中でも

喃風……

父上の刀は
天下一だ
右に出る
者なんて
いない
誰にも
負ける
わけがない
そう
信じてた

あのときまで……
私は——

あのとき…はじめて奴の刀を見たときから

ずっと私は心を奪われ続けてたんだ

だから私はここに来た

もう一度…

ぱしゃっ

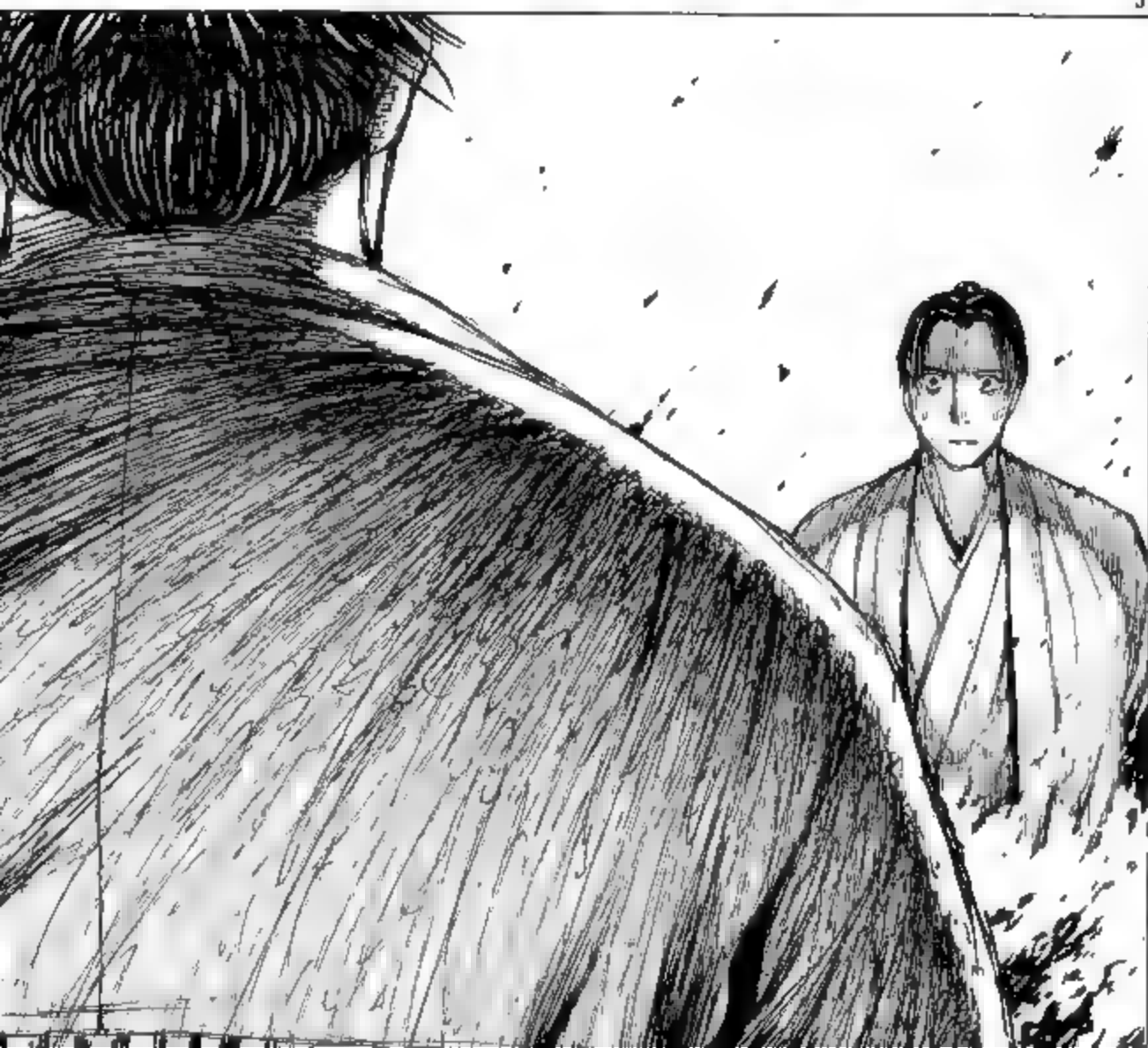
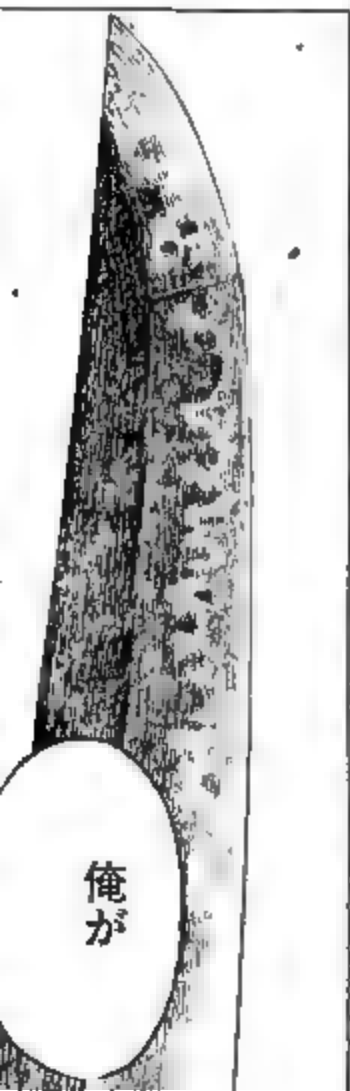
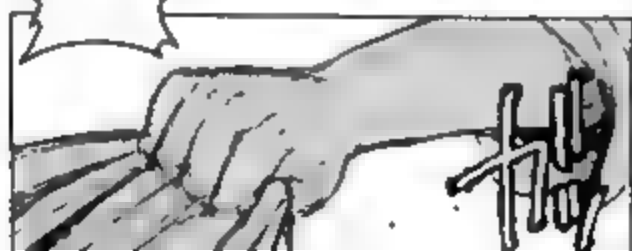
奴の刀が見たい!!

今になって
わかった

私はずっと
奴の刀に
生かされてた…!!

嘯風!!
早くそこを
出るんだ
このままでは
刀もろとも
焼け死ぬ
そんな
こと…

見ろ
これが
俺の刀だ

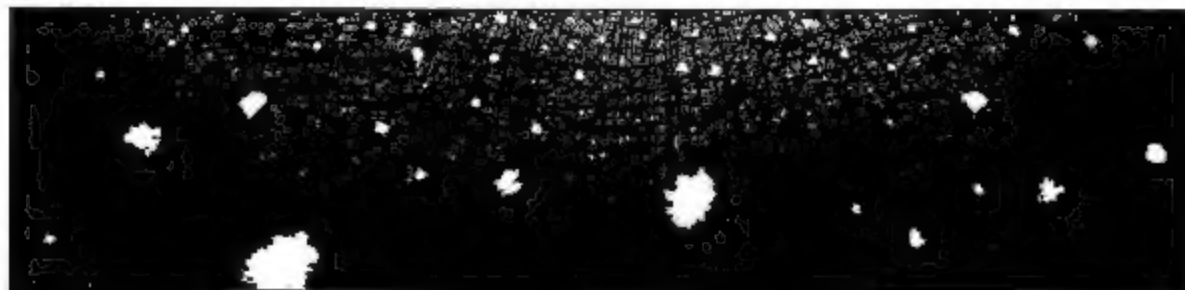
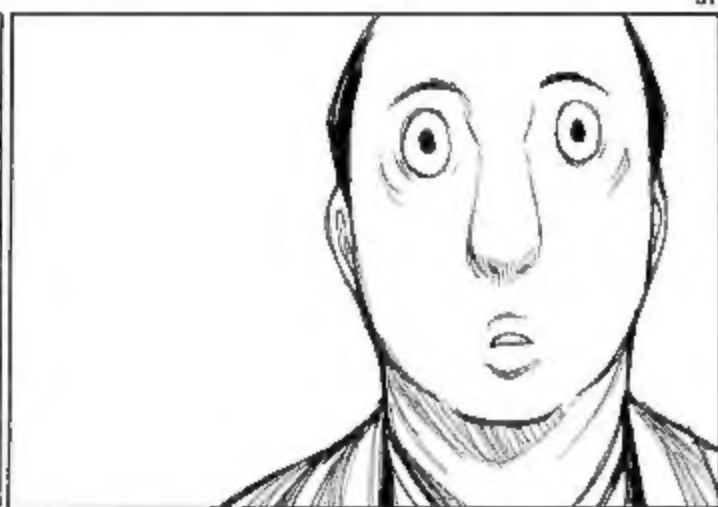
これが
こんな刀がお前に作れるか？
やはり俺の刀のほうが美しい
俺が

俺の刀こそが
天下一だ!!
嘯風──ッ

『哺風と空永』へのご意見、ご感想をお待ちしております。

56

結局
追い続けていた
喃風は死に

奴の刀も
失われた

ぽ
ぽっ

あいつの
刀は
今でも私の
瞳の奥に
焼きついているんだ

私は奴の作ったあの刀を
必ず超える刀を作るのだ

父の自裁。そして喃風の死。空永は頂きを目指し自らの道を歩み始める。

完 高木秀栄氏の次回作にご期待ください。